

神奈川県

[教育政策][少子・高齢化政策]

2つのテーマから一つを選択し応募してください。

1. 教育政策

本県で実施した平成 25 年度「教育に関する意識調査」において、「子供の实態」として「夢中になれるとき」の調査結果を平成 17 年度のものと比較したところ、「ゲームをしているとき」が顕著に増加している一方、「勉強がわかったり、知らなかったことを知ったとき」等のいくつかの項目は低下する傾向にありました。しかし、「面白い授業受けているとき」はほぼ変化していないか、微増しています。

これらの情報や皆さん自身の経験、インターネット上の資料や「つぶやき」データの分析を元にして、「学校を楽しく！」するアイデアを考えてください。

2. 少子・高齢化政策

本県では、「潜在力全開宣言 さらなる展開」において、「女性が力を発揮できる社会づくり」を掲げています。実現に向けた取組みの一つとして、「女性の就業率を上げる」ことが考えられますが、神奈川県の育児をしながら仕事をしている女性（25～44 歳）の割合は、全国平均を下回っています。一方、男性が育児に携わる時間はほぼ全国平均に留まっています。そこで、神奈川県において子供を育てながら安心して働けるようにするためには、どのような政策が必要か考えてください。

特に参考していただきたいデータ、サイト

- ・ 神奈川県ホームページ（第2回データビジネス創造コンテスト 特設サイト）
(<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f530903/>)
- ・ 神奈川県統計センター (<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6764/>)
- ・ H24 就業構造基本調査 (<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6779/>)
- ・ H23 社会生活基本調査 (<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6800/>)
- ・ H25 神奈川県働く環境に関する事業所調査（附属統計表）
(<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/704736.pdf>)
- ・ H25 教育に関する意識調査（平成 17 年度との比較も含む）
(<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f530126/>)

佐賀県

[観光政策][医療政策]

☆佐賀県データコンシェルジュ☆

佐賀県はご提案いただける学生の皆をサポートするために、1次書類選考段階から“あなたのデータコンシェルジュ”として専門の職員を配置しております。

「こんなデータないんですか?」「佐賀の救急はどんな状況なのですか?」「どのサイトをみると便利ですか?」などのお困りごとにひとつひとつ丁寧にご案内いたしますので、メール等で気軽にご相談ください。

佐賀県データコンシェルジュ 佐賀県統括本部情報・業務改革課 円城寺雄介

dig-office@sfc.keio.ac.jp

2つのテーマから一つを選択し応募してください。

1.観光政策

GWに有田町で開催される有田陶器市は、毎年100万人を超える観光客が参加し、とても盛り上がります。一方、それ以外の期間における有田町の観光客数は低迷しています。どうすれば有田町は、陶器市のシーズン以外でも多くの観光客を誘致することができるのでしょうか?

2.医療政策

救急医療の受け入れが全国的な問題になる中、佐賀県は2011年に99さがネットを立ち上げ、病院の受け入れ状況を見える化しました。同時に、全救急車50台にiPadを配備し、その情報をいつでも検索できるようにし、搬送時間を短縮しました。これらの仕組みを更に活用し、救急医療の仕組みをより改善していくにはどんな施策が考えられるでしょうか?

特に参考していただきたいデータ、サイト

・佐賀県：佐賀県庁ホームページ (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/>)

自治体からの追加提供データについては佐賀県データコンシェルジュまでお問い合わせください。

■有田町のデータ

■救急車の搬送データ

救急車ごとの「入電から現場到着までの時間」「現場滞在時間」「出動件数」などの情報が含まれた実績データ

■医療機関の搬送受入データ

搬送先医療機関の「患者受入件数」、「初診時の傷病名」などの情報が含まれた実績データ

会津若松市

[観光政策][教育政策][少子・高齢化政策]

3つのテーマから一つを選択し応募してください。

1. 観光政策

会津若松市を訪問する観光客の誘致を目指しています。「貴方が会津に観光に来たいと思うにはどのような課題を解消することが必要で、どのような施策を講ずるべきか」考えてください。もちろん、観光客を増やすための施策だけでなく、受け入れに必要な施策でも構いません。

想定データ：「観光ナビ」の掲載情報など、Twitter を活用した取組み（#aizusakura、#会津さくら、#会津華たび）

2. 教育政策

都市部と地方で教育環境、情報に関する格差が大きいといわれています。会津若松市としても、地理的制約から都市部との教育環境/情報の格差があると考えています。「都市部の教育環境に近づけるために、大学受験などの進路状況で都市部とどのような格差があり、如何に埋めていくのか」を考えてください。

想定データ：各校の進路状況、学校基本調査

3. 少子・高齢化政策

国内の他の地域同様に、会津若松市においても少子高齢化が進んでおり、地域を活性化していくためにも若者を増やすことが必要です。会津若松市の若者人口増加に向け、「貴方が卒業後に会津に住みたい（就職したい）と思うにはどのような課題があり、どのような施策を講じるべきか」考えてください。

想定データ：住基人口（自治体）、国勢調査、現住人口（国）

特に参考していただきたいデータ、サイト

- ・ Data for Citizen (<http://www.data4citizen.jp>)
- ・ オープンデータの取組み (<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2009122400048/>)
- ・ 会津データ蔵（統計情報） (<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2007080901447/>)
- ・ 会津若松観光ナビ (<http://www.aizukanko.com/>)
- ・ My ルートガイド（スポット一覧） (<http://routeguide.jp/fukushima/modules/spot/?page=category>)

鯖江市

[少子・高齢化政策]

1. 少子・高齢化政策

鯖江市は市民主役条例にもとづく市民協働のまちづくり、鯖江市地域活性化プランコンテストや河和田アートキャンプ、最近ではJK課による若者との街づくり、オープンデータなどによるITのまちづくりを進めています。最近までは、県内で唯一、人口が増えていましたが、これから、減少期を迎えそうです。そこで、「若者が定着する町」、若者が地元で愛着を感じて、外に出てもUターンしてもらえるようなアイデアをお願いします。

特に参考していただきたいデータ、サイト

- ・ データシティ鯖江サイト (<http://data.city.sabae.lg.jp/>)
- ・ 鯖江市統計情報(<http://www.city.sabae.fukui.jp/pageview.html?id=10838>)

流山市

[その他]

1. その他

流山市は、「都心から一番近い森のまち」、「母になるなら流山市」というキャッチフレーズのとおり、緑豊かな住環境の中で、子育てに優しいまちを目指しており、若い世代の方々が続々とお越しになっていますが、全国の自治体にみられるように、若年層の投票率が比較的低い状況です。平成27年4月に予定される統一地方選挙を控え、この投票率を向上させるためには、どのような方策が考えられるでしょうか。若い皆さんのユニークなアイデアを是非お聞かせください。

特に参考していただきたいデータ、サイト

- ・流山市オープンデータ一覧 (<http://www.city.nagareyama.chiba.jp/10763/019684.html>)